

令和3年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(令和4年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

令和6年2月
福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
（1）令和3年度一般廃棄物処理事業の概要	2
（2）福島県廃棄物処理計画	5
2 福島県のごみ処理の状況	6
（1）ごみの排出量について	7
（2）ごみの分別数の状況について	11
（3）ごみの処理状況について	12
（4）リサイクル率・資源化率について	14
（5）最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
（1）水洗化の状況について	18
（2）し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
（3）浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 令和3年度廃棄物処理事業経費	24
2 令和3年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 令和3年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 令和3年度ごみ処理の概要	34
5 令和3年度ごみ搬入量の内訳	38
6 令和3年度ごみ処理量の内訳	45
7 令和3年度資源化量の内訳	48
8 令和3年度ごみ処理手数料の状況（生活系）	52
9 令和3年度ごみ処理手数料の状況（事業系）	60
10 令和3年度ごみの収集運搬体制の状況（生活系）	68
11 令和3年度ごみの収集運搬体制の状況（事業系）	78
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	88
13 市町村における生ごみ処理機（コンポスト容器も含む）普及促進策	89
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	92
15 令和3年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧（国費による助成事業）	93
16 令和3年度水洗化人口等の状況	94
17 令和3年度し尿処理の状況	96
第3編 資料編	99
1 一般廃棄物処理施設の状況	100
2 市町村廃棄物関係担当課一覧	114
3 一部事務組合一覧	116

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 令和3年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

令和3年10月1日現在の福島県の人口は1,844,169人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,783.90km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、令和4年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合(令和5年3月31日に1組合が解散したことにより、現在は12組合)となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

令和3年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約356億円で、前年度(約393億円)と比較すると約9.4%減少しています。

表-1 令和3年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 31,128,174			し尿処理経費 4,476,099		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
35,604,273 (39,319,138)	8,201,315 (6,650,741)	21,712,026 (20,934,085)	1,214,833 (1,339,424)	633,440 (6,824,591)	3,581,187 (3,338,326)	261,472 (231,971)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は令和2年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

令和3年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は642、その従業員数は6,511人となっており、前年度と比較すると、業者数及び従業員数は増加しています。

表-2 一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者数				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
642 (639)	510 (510)	102 (104)	30 (25)	6,511 (6,336)	5,325 (5,159)	1,209 (1,199)	23 (15)

(注)()内は令和2年度実績

従業員数は、業務の兼務により、内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

令和3年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は104施設で、ごみ処理施設が60施設、し尿処理施設が22施設、一般廃棄物最終処分場が22施設となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金(平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金)が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況

(令和3年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	21	3,010 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	13	484 (t/日)
	資源化施設	26	281 (t/日)
	小計	60	
し尿処理施設	し尿処理施設	21	2,366 (kl/日)
	コミュニティプラント	1	計画処理人口 3,000 人
	小計	22	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 587 千m ³
			残余年数 3 年
合計		104	

(注)残余年数は、残余容量を令和3年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ ごみ処理有料化の状況

可燃ごみについて、生活系ごみは 26 市町村 (44%)、事業系ごみは 55 市町村 (93%) で有料化されています。

不燃ごみについて、生活系ごみは 26 市町村 (44%)、事業系ごみは 50 市町村 (85%) で有料化されています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村 (委託を含む) で有料化されています。(表-4、表-5 参照)

表－4 ごみ処理有料化の状況(単位:市町村数)

種 類		生活系ごみ(割合% ^{注1})	事業系ごみ(割合% ^{注1})
可燃ごみ		26 (44.1 %)	55 (93.2 %)
不燃ごみ		26 (44.1 %)	50 (84.7 %)
資源ごみ	紙類 (紙パック、紙製容器包装を除く)	1 (1.7 %)	20 (33.9 %)
	紙パック	1 (1.7 %)	20 (33.9 %)
	紙製容器包装	6 (10.2 %)	19 (32.2 %)
	金属類	13 (22.0 %)	23 (39.0 %)
	ガラス類	13 (22.0 %)	23 (39.0 %)
	ペットボトル	13 (22.0 %)	23 (39.0 %)
	白色トレイ	14 (23.7 %)	24 (40.7 %)
	容器包装プラスチック (白色トレイを除く)	14 (23.7 %)	24 (40.7 %)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	2 (3.4 %)	3 (5.1 %)
	布類	0 (0.0 %)	1 (1.7 %)
	生ごみ	0 (0.0 %)	1 (1.7 %)
	その他 ^{注2}	0 (0.0 %)	1 (1.7 %)
その他収集ごみ ^{注3}		2 (3.4 %)	8 (13.6 %)
粗大ごみ		24 (40.7 %)	35 (59.3 %)

(注1)割合の分母は令和3年度末現在の市町村数で59です。

(注2)資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には廃食用油、剪定枝、小型家電等です。

(注3)「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表－5 し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有料		無料
	従量・回数制(割合%)	定額制(割合%)	
し尿	37 (62.7%)	4 (6.8%)	0
浄化槽汚泥	38 (64.4%)	2 (3.4%)	0

(注)割合の分母は令和3年度末現在の市町村数で59です。(他の市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

現在の「福島県廃棄物処理計画」は、持続可能な開発のための 2030 アジェンダの採択、新型感染症対策に伴う生活様式等の変化、プラスチック資源循環促進法の公布といった状況の変化を踏まえ、令和 4 年 1 月に次の基本的目標を掲げ、策定したものです。

循環型社会の形成～持続可能な社会の実現のために

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみの発生抑制や最終処分量の削減を推進するための施策を引き続き実施していくとともに、リサイクル率向上のための施策の充実を図ることが必要です。
- ②既存施設の長寿命化や延命化、地球温暖化対策に配慮した施設への転換や災害への対応を想定した施設整備が必要です。
- ③大規模な災害発生時の廃棄物処理対策が円滑に進むよう、災害廃棄物処理計画の策定や見直しを検討するとともに、ごみの不適正処理防止の普及啓発や不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の 3 つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- ① 3 R（リデュース：ごみの発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）の推進
- ② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進
- ③ ごみの適正処理及び災害廃棄物対策の推進

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（令和 8 年度における目標値） 県民に分かりやすい指標として次のように目標値を設定しました。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 1 人 1 日当たりのごみの排出量 | 9 2 3 g / 人・日以下 |
| ② リサイクル率 | 1 6 . 0 % 以上 |
| ③ 1 日当たりの最終処分量 | 1 5 0 t / 日以下 |

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策を推進します。

① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進

- 意識啓発の推進
- ごみの発生抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）の推進
- 再生利用（リサイクル）の促進
- 各種リサイクル法に基づく再生利用の推進
- 経済的手法の検討

② ごみ処理施設の計画的な整備及び維持管理の促進

- ごみ処理施設の長寿命化と延命化
- 二酸化炭素を極力排出しない施設やエネルギー効率が
高い施設の設置の促進

③ ごみの適正処理及び災害廃棄物対策の推進

- 災害廃棄物の適正かつ円滑な処理の促進
- 不適正処理防止のための環境づくり

2 福島県のごみ処理の状況

○ 福島県のごみ処理の状況（令和3年度）

1 ごみの排出量

(1) 排出量

692,880 (t / 年) 【前年度710,449 t / 年】

前年度と比較し17,569 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値923 g / 人・日以下】

1,029 (g / 人・日) 【前年度1,033 g / 人・日】

前年度と比較し4g 減少しましたが、目標値と比較すると106g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値16.0%以上】

13.3 (%) 【前年度13.2%】

前年度と比較し0.1ポイント増加しましたが、目標値との比較では2.7ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

80,036 (t / 年) 【前年度83,378 t / 年】

前年度と比較し3,342 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値150 t / 日以下】

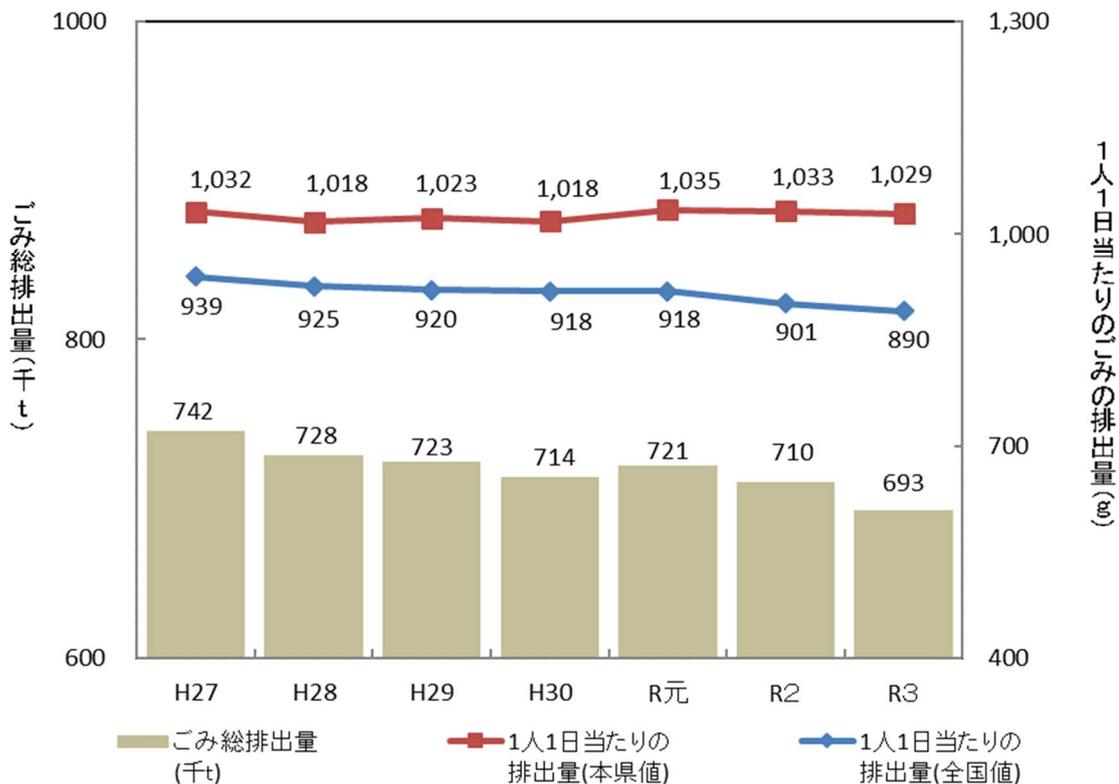
219 (t / 日) 【前年度228 t / 日】

前年度と比較し9t減少しましたが、目標値と比較すると69tオーバーしています。

(1) ごみの排出量について

令和3年度におけるごみの総排出量は692,880tで、1人1日当たりに換算すると1,029gとなります。これを全国平均の890gと比較すると139g多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが494,636t、事業系ごみが198,244tと、生活系ごみが約71%を占めています。



(注)平成27年度～30年度は、東日本大震災の除染廃棄物を除外しています。

図－1 ごみの排出量の推移



図－2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

市町村別のごみ排出量の状況は表－6となっています。表－7は令和2年度の1人1日当たりのごみ排出量と比較し、ランキング形式で表したものです。結果として、令和3年度は27市町村で前年度よりも排出量が増加しています。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表－8のとおりです。

表一6 市町村別のごみ排出量の状況

市町村名	計画処理 区域内 人口 (人)	ごみの総排出量 (t)			1人1日当たりの排出量 (g/人・日)			資源化量 (t)	リサイクル 率 (%)	有料化 実施 市町村
		生活系ごみ 排出量(集団 回収量含む)	事業系ごみ排 出量	合計	生活系ごみ 排出量(集団 回収量含む)	事業系ごみ 排出量	合計 ^{注1}			
福島市	273,904	78,925	30,107	109,032	789	301	1,091	11,147	10.2	
伊達市	58,552	18,374	6,930	25,304	860	324	1,184	2,758	10.9	
桑折町	11,421	3,632	1,565	5,197	871	375	1,247	608	11.7	
国見町	8,653	2,800	1,084	3,884	887	343	1,230	221	5.7	
川俣町	12,391	3,816	1,863	5,679	844	412	1,256	402	7.1	
二本松市	53,075	13,286	3,390	16,676	686	175	861	2,727	16.4	
大玉村	8,736	2,231	409	2,640	700	128	828	453	17.2	
本宮市	30,115	7,897	2,007	9,904	718	183	901	1,685	17.0	
郡山市	320,120	89,629	48,643	138,272	767	416	1,183	13,702	9.9	
須賀川市	75,171	20,678	5,507	26,185	754	201	954	2,687	10.3	
鏡石町	12,608	3,377	718	4,095	734	156	890	439	10.7	
天栄村	5,426	1,536	428	1,964	776	216	992	213	10.6	
石川町	14,447	3,422	1,094	4,516	649	207	856	444	10.1	○
玉川村	6,380	1,338	489	1,827	575	210	785	203	10.9	○
平田村	5,775	1,117	556	1,673	530	264	794	181	11.1	○
浅川町	6,165	1,526	453	1,979	678	201	879	199	10.3	○
古殿町	4,909	1,051	355	1,406	587	198	785	146	10.6	○
田村市	34,452	7,858	2,983	10,841	625	237	862	1,604	14.9	○
三春町	16,705	4,680	1,359	6,039	768	223	990	1,109	18.2	○
小野町	9,372	2,105	816	2,921	615	239	854	364	12.5	○
白河市	59,605	15,172	6,983	22,155	697	321	1,018	1,917	8.7	○
西郷村	20,189	4,722	2,401	7,123	641	326	967	546	7.7	○
泉崎村	6,314	1,371	700	2,071	595	304	899	191	9.2	○
中島村	4,852	1,069	218	1,287	604	123	727	124	9.7	○
矢吹町	16,992	3,984	1,840	5,824	642	297	939	431	7.5	○
棚倉町	13,545	3,536	1,304	4,840	715	264	979	423	8.7	○
矢祭町	5,496	1,466	377	1,843	731	188	919	184	9.2	○
塙町	8,389	2,167	605	2,772	708	198	905	276	9.4	○
鮫川村	3,148	701	138	839	610	120	730	94	9.8	○
会津若松市	115,840	33,426	13,100	46,526	791	310	1,100	6,248	13.4	
磐梯町	3,360	962	662	1,624	784	540	1,324	385	23.7	
猪苗代町	13,457	3,878	1,760	5,638	790	358	1,148	914	16.2	
会津坂下町	15,181	3,422	1,295	4,717	618	234	851	469	9.9	○
湯川村	3,145	847	193	1,040	738	168	906	122	11.7	
柳津町	3,142	699	341	1,040	610	297	907	50	4.8	
三島町	1,485	398	100	498	734	184	919	16	3.2	
金山町	1,812	464	70	534	702	106	807	25	4.7	
昭和村	1,141	317	54	371	761	130	891	41	11.1	
会津美里町	19,435	5,317	1,263	6,580	750	178	928	996	15.1	
喜多方市	46,128	12,408	4,291	16,699	737	255	992	1,581	9.5	
北塩原村	2,630	507	564	1,071	528	588	1,116	93	8.7	
西会津町	5,744	1,376	294	1,670	656	140	797	164	9.8	
下郷町	5,333	1,471	541	2,012	756	278	1,034	284	14.1	
南会津町	14,598	4,183	1,495	5,678	785	281	1,066	787	13.9	
只見町	3,938	1,239	259	1,498	862	180	1,042	246	16.4	
檜枝岐村	526	202	4	206	1,052	21	1,073	67	32.5	
南相馬市	58,552	17,539	7,082	24,621	821	331	1,152	3,057	12.4	
飯館村	4,942	327		327	181		181	62	19.0	○
相馬市	33,944	10,820	2,415	13,235	873	195	1,068	1,422	10.7	
新地町	7,772	2,304	288	2,592	812	102	914	394	15.2	
広野町	4,678	994	856	1,850	582	501	1,083	75	4.1	○
楢葉町	6,698	982	782	1,764	402	320	722	97	5.5	○
富岡町	12,085	590	687	1,277	134	156	290	74	5.8	○
川内村	2,464	481	158	639	535	176	711	39	6.1	○
大熊町	10,317	59	381	440	16	101	117	32	7.3	○
双葉町 ^{注2}	5,694		84	84		40	40			
浪江町	16,309	696	664	1,360	117	112	228	51	3.8	○
葛尾村	1,346	114	35	149	232	71	303	7	4.7	○
いわき市	315,566	85,148	33,204	118,352	739	288	1,028	28,900	24.5	
合計	1,844,169	494,636	198,244	692,880	735	295	1,029	92,176	13.3	26

(注1) 総排出量を基準に1人1日当たりの排出量を算出しているため、端数の関係で生活系及び事業系の値を足し合わせても、一致しない自治体があります。
(注2) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、双葉町は市町村による生活ごみ等の処理が再開されておきませんが、統計上、合計に含めております。(令和4年3月31日現在)
(注3) 避難区域となった市町村については、住民の避難や復興事業の進捗等により、統計上の人口と実際の居住者数が大きく乖離している場合があるため、比較・評価等に適さない場合があります。例えば、広野町については、同町が把握している居住人口6,058人(復興事業等に従事する1,808人を含む)で仮に算出すると、1人1日当たりのごみの排出量は837gとなります。

表ー7 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g/人日)

順位	市町村名	対前年度比	R3年度	R2年度	順位	市町村名	対前年度比	R3年度	R2年度
1	広野町	-248	1,083	1,332	30	郡山市	-7	1,183	1,190
2	平田村	-222	794	1,016	31	北塩原村	-4	1,116	1,119
3	葛尾村	-148	303	452	32	大玉村	1	828	827
4	檜葉町	-142	722	864	33	白河市	2	1,018	1,017
5	棚倉町	-100	979	1,079	34	三春町	4	990	986
6	川俣町	-67	1,256	1,323	35	泉崎村	6	899	893
7	浪江町	-66	228	294	36	大熊町	7	117	110
8	相馬市	-59	1,068	1,127	37	飯舘村	10	181	171
9	田村市	-53	862	915	38	鮫川村	11	730	720
10	金山町	-43	807	851	39	喜多方市	11	992	980
11	下郷町	-43	1,034	1,076	40	矢吹町	11	939	928
12	伊達市	-34	1,184	1,218	41	小野町	17	854	837
13	埴町	-32	905	937	42	浅川町	17	879	862
14	檜枝岐村	-31	1,073	1,104	43	西会津町	18	797	779
15	川内村	-31	711	742	44	柳津町	18	907	889
16	南相馬市	-28	1,152	1,180	45	会津坂下町	19	851	832
17	桑折町	-25	1,247	1,272	46	只見町	24	1,042	1,018
18	石川町	-24	856	881	47	鏡石町	25	890	865
19	猪苗代町	-24	1,148	1,172	48	昭和村	28	891	863
20	富岡町	-24	290	314	49	磐梯町	32	1,324	1,292
21	会津若松市	-23	1,100	1,123	50	玉川村	34	785	751
22	本宮市	-23	901	924	51	西郷村	41	967	926
23	矢祭町	-22	919	941	52	中島村	42	727	685
24	須賀川市	-19	954	973	53	いわき市	44	1,028	983
25	福島市	-16	1,091	1,107	54	天栄村	57	992	934
26	会津美里町	-15	928	943	55	三島町	67	919	852
27	古殿町	-13	785	798	56	新地町	81	914	832
28	南会津町	-13	1,066	1,079	57	湯川村	85	906	821
29	二本松市	-10	861	870	58	国見町	87	1,230	1,142

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

(注3) 福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和4年3月31日現在)

表-8 1人1日当たりのごみ排出量(単位:g/人日)

(1) 人口5万人以上
(9市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	861
2	須賀川市	954
3	白河市	1,018
4	いわき市	1,028
5	福島市	1,091
6	会津若松市	1,100
7	南相馬市	1,152
8	郡山市	1,183
9	伊達市	1,184
	平均	1,086

(3) 人口5千人～1万人未満
(14町村)

順位	市町村名	排出量
1	檜葉町	722
2	玉川村	785
3	平田村	794
4	西会津町	797
5	大玉村	828
6	小野町	854
7	浅川町	879
8	泉崎村	899
9	塙町	905
10	新地町	914
11	矢祭町	919
12	天栄村	992
13	下郷町	1,034
14	国見町	1,230
	平均	900

(5) 全市町村
(58市町村)

順位	市町村名	排出量
1	大熊町	117
2	飯館村	181
3	浪江町	228
4	富岡町	290
5	葛尾村	303
6	川内村	711
7	檜葉町	722
8	中島村	727
9	鮫川村	730
10	玉川村	785
11	古殿町	785
12	平田村	794
13	西会津町	797
14	金山町	807
15	大玉村	828
16	会津坂下町	851
17	小野町	854
18	石川町	856
19	二本松市	861
20	田村市	862
21	浅川町	879
22	鏡石町	890
23	昭和村	891
24	泉崎村	899
25	本宮市	901
26	塙町	905
27	湯川村	906
28	柳津町	907
29	新地町	914
30	矢祭町	919
31	三島町	919
32	会津美里町	928
33	矢吹町	939
34	須賀川市	954
35	西郷村	967
36	棚倉町	979
37	三春町	990
38	天栄村	992
39	喜多方市	992
40	白河市	1,018
41	いわき市	1,028
42	下郷町	1,034
43	只見町	1,042
44	南会津町	1,066
45	相馬市	1,068
46	檜枝岐村	1,073
47	広野町	1,083
48	福島市	1,091
49	会津若松市	1,100
50	北塩原村	1,116
51	猪苗代町	1,148
52	南相馬市	1,152
53	郡山市	1,183
54	伊達市	1,184
55	国見町	1,230
56	桑折町	1,247
57	川俣町	1,256
58	磐梯町	1,324
	平均	1,032

(2) 人口1万人～5万人未満 (19市町)

順位	市町村名	排出量
1	大熊町	117
2	浪江町	228
3	富岡町	290
4	会津坂下町	851
5	石川町	856
6	田村市	862
7	鏡石町	890
8	本宮市	901
9	会津美里町	928
10	矢吹町	939
11	西郷村	967
12	棚倉町	979
13	三春町	990
14	喜多方市	992
15	南会津町	1,066
16	相馬市	1,068
17	猪苗代町	1,148
18	桑折町	1,247
19	川俣町	1,256
	平均	900

(4) 人口5千人未満 (16町)

順位	市町村名	排出量
1	飯館村	181
2	葛尾村	303
3	川内村	711
4	中島村	727
5	鮫川村	730
6	古殿町	785
7	金山町	807
8	昭和村	891
9	湯川村	906
10	柳津町	907
11	三島町	919
12	只見町	1,042
13	檜枝岐村	1,073
14	広野町	1,083
15	北塩原村	1,116
16	磐梯町	1,324
	平均	829

【参考】

全国平均	890 g/人・日
1位	長野県南牧村 306.6 g/人・日
2位	長野県川上村 327.6 g/人・日
3位	徳島県神山町 378.9 g/人・日

(注)太字は生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村。

福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和4年3月31日現在)

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は 26 市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表－9 のとおり、有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1 人 1 日当たりのごみ排出量（平均）が 261g（24.3%）少なくなっています。

また、人口別にみても、同様の傾向となっています。（有料化実施市町村は、表－8 の太字部分及び第 2 編統計データ編「8 令和 2 年度ごみ処理手数料の状況（生活系）（P52～59）」を参照。）

表－9 有料化の実施の有無による 1 人 1 日当たりのごみ排出量（単位：g／人日）

	有料化実施	有料化未実施	差 ^{注3} （割合%）
排出量	815 (26)	1,077 (32)	-261 (-24.3%)
人口50,000人以上の市町村の排出量	1,018 (1)	1,089 (8)	-70 (-6.5%)
人口10,000～50,000人の市町村の排出量	756 (10)	1,026 (9)	-270 (-26.3%)
人口5,000～10,000人の市町村の排出量	846 (8)	971 (6)	-125 (-12.9%)
人口5,000人未満の市町村の排出量	676 (7)	1,020 (9)	-344 (-33.7%)

（注1）（）内は市町村数

（注2）福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。（令和4年3月31日現在）

（注3）小数点以下の端数を含めて計算するので、表中の数値と一致しない場合があります。

（2）ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成 9 年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

令和 3 年度の状況は表－10 のとおりであり、分別数は 19 区分から 7 区分までとなっています。

表－10 ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、大玉村、本宮市	3
18	古殿町、檜枝岐村	2
17	国見町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、三春町、会津坂下町、南相馬市	8
16	磐梯町、猪苗代町、会津美里町	3
15	須賀川市、天栄村、田村市、小野町、会津若松市、北塩原村、西会津町、新地町	8
14	伊達市、桑折町、鏡石町、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村、柳津町、三島町、下郷町、南会津町、只見町、いわき市	13
13	郡山市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、湯川村、喜多方市、檜葉町	9
12	福島市、広野町、富岡町、大熊町、葛尾村	5
11	川俣町、昭和村、相馬市	3
10	金山町	1
9	飯舘村	1
8	浪江町	1
7	川内村	1

(注)分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出すこととしている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。(令和4年3月31日現在)

(3) ごみの処理状況について

令和3年度のごみ処理フローは図－3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は677,679tで、このうち、直接焼却処理された量は582,341t(85.9%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は69,277t(10.2%)となっています。

最終処分された量は80,036tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が77,612t(97.0%)、直接最終処分された量が2,424t(3.0%)となっています。

総資源化量は92,176tで、このうち、収集後に直接資源化された量が23,637t(25.6%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が53,249t(57.8%)、集団回収量が15,290t(16.6%)となっています。

処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：t／年）

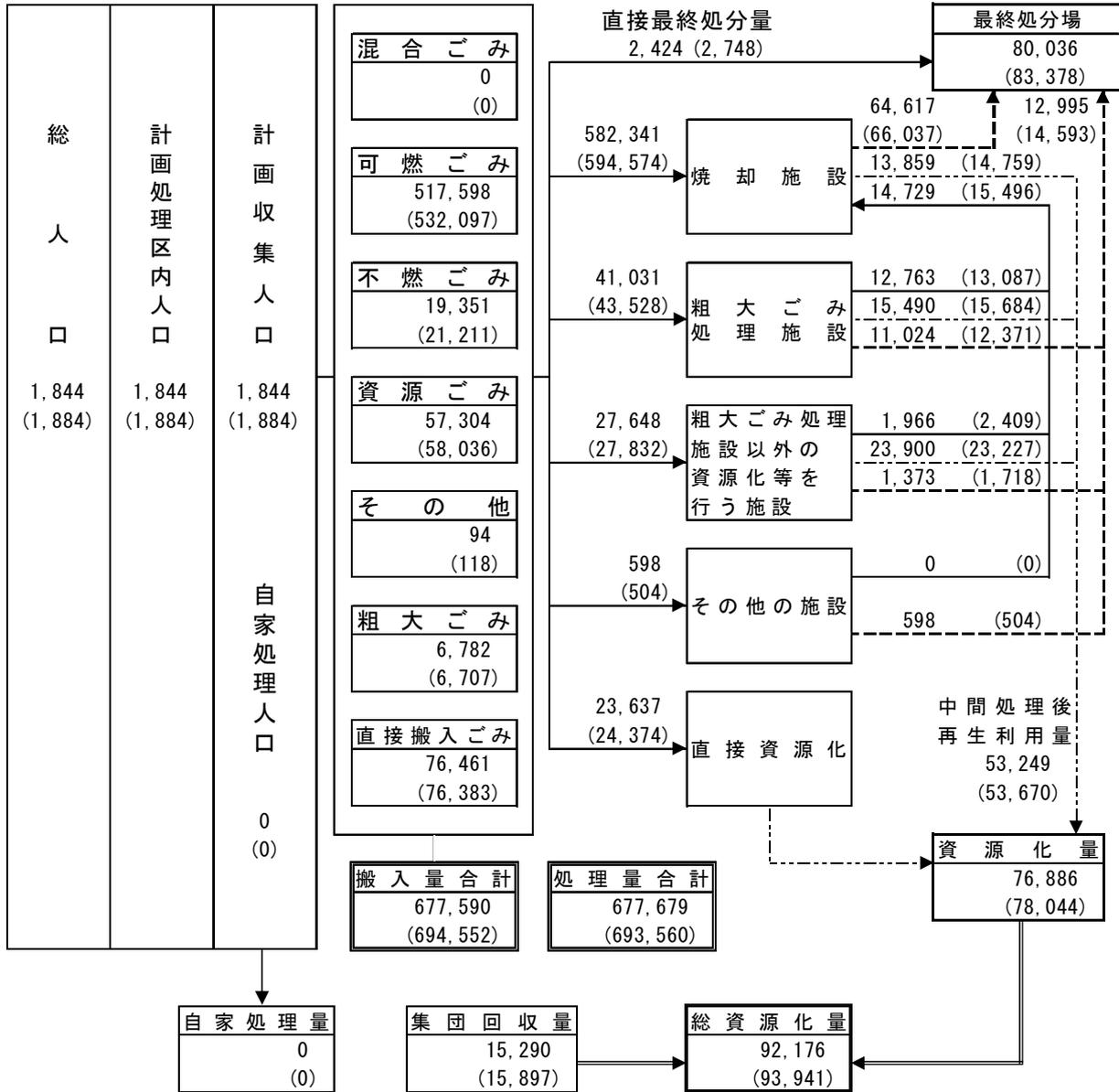


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は令和2年度の実績

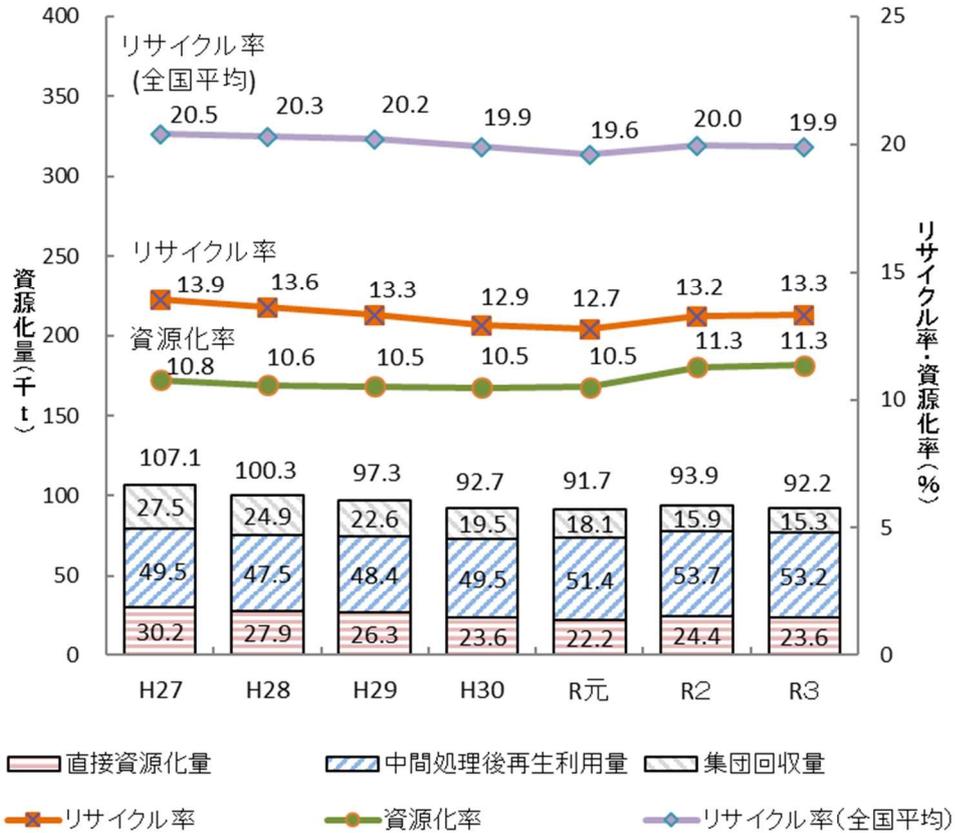
前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

※ごみ処理に関する基本的な用語

- ・直接资源化量：资源化等を行う施設を経ずに直接再生業者に搬入された量
- ・中間処理後再生利用量：粗大ごみ施設等による中間処理後に再生利用された量
- ・资源化量：（直接资源化量）＋（中間処理後の再生利用量）
- ・集団回収量：市民団体等により収集されたもののうち、市町村が用具の貸出、補助金等の交付等により関与しているものの量
- ・総资源化量：（直接资源化量）＋（中間処理後の再生利用量）＋（集団回収量）
- ・リサイクル率 = $\frac{(\text{総资源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$
- ・资源化率 = $\frac{(\text{资源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率及び資源化率については、平成 27 年度以降減少傾向にありましたが、令和 2 年度から増加の兆しが見えています。



図ー4 総資源化量とリサイクル率の推移

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表－11 のとおりです。

表－11 リサイクル率(単位:%)

(1) 人口5万人以上
(市町村数: 9)

順位	市町村名	リサイクル率
1	いわき市	24.5
2	二本松市	16.4
3	会津若松市	13.4
4	南相馬市	12.4
5	伊達市	10.9
6	須賀川市	10.3
7	福島市	10.2
8	郡山市	9.9
9	白河市	8.7
	平均	13.9

(3) 人口5千人～1万人未満
(市町村数: 14)

順位	市町村名	リサイクル率
1	大玉村	17.2
2	新地町	15.2
3	下郷町	14.1
4	小野町	12.5
5	平田村	11.1
6	玉川村	10.9
7	天栄村	10.6
8	浅川町	10.3
9	西会津町	9.8
10	塙町	9.4
11	泉崎村	9.2
12	矢祭町	9.2
13	国見町	5.7
14	檜葉町	5.5
	平均	10.7

(5) 全市町村
(市町村数: 58)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	32.5
2	いわき市	24.5
3	磐梯町	23.7
4	飯館村	19.0
5	三春町	18.2
6	大玉村	17.2
7	本宮市	17.0
8	只見町	16.4
9	二本松市	16.4
10	猪苗代町	16.2
11	新地町	15.2
12	会津美里町	15.1
13	田村市	14.9
14	下郷町	14.1
15	南会津町	13.9
16	会津若松市	13.4
17	小野町	12.5
18	南相馬市	12.4
19	湯川村	11.7
20	桑折町	11.7
21	平田村	11.1
22	昭和村	11.1
23	伊達市	10.9
24	玉川村	10.9
25	相馬市	10.7
26	鏡石町	10.7
27	天栄村	10.6
28	古殿町	10.6
29	須賀川市	10.3
30	浅川町	10.3
31	福島市	10.2
32	石川町	10.1
33	会津坂下町	9.9
34	郡山市	9.9
35	西会津町	9.8
36	鮫川村	9.8
37	中島村	9.7
38	喜多方市	9.5
39	塙町	9.4
40	泉崎村	9.2
41	矢祭町	9.2
42	棚倉町	8.7
43	白河市	8.7
44	北塩原村	8.7
45	西郷村	7.7
46	矢吹町	7.5
47	大熊町	7.3
48	川俣町	7.1
49	川内村	6.1
50	富岡町	5.8
51	国見町	5.7
52	檜葉町	5.5
53	柳津町	4.8
54	葛尾村	4.7
55	金山町	4.7
56	広野町	4.1
57	浪江町	3.8
58	三島町	3.2
	平均	13.3

(2) 人口1万人～5万人未満
(市町村数: 19)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	18.2
2	本宮市	17.0
3	猪苗代町	16.2
4	会津美里町	15.1
5	田村市	14.9
6	南会津町	13.9
7	桑折町	11.7
8	相馬市	10.7
9	鏡石町	10.7
10	石川町	10.1
11	会津坂下町	9.9
12	喜多方市	9.5
13	棚倉町	8.7
14	西郷村	7.7
15	矢吹町	7.5
16	大熊町	7.3
17	川俣町	7.1
18	富岡町	5.8
19	浪江町	3.8
	平均	11.7

(4) 人口5千人未満
(市町村数: 16)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	32.5
2	磐梯町	23.7
3	飯館村	19.0
4	只見町	16.4
5	湯川村	11.7
6	昭和村	11.1
7	古殿町	10.6
8	鮫川村	9.8
9	中島村	9.7
10	北塩原村	8.7
11	川内村	6.1
12	柳津町	4.8
13	葛尾村	4.7
14	金山町	4.7
15	広野町	4.1
16	三島町	3.2
	平均	11.0

【参考】

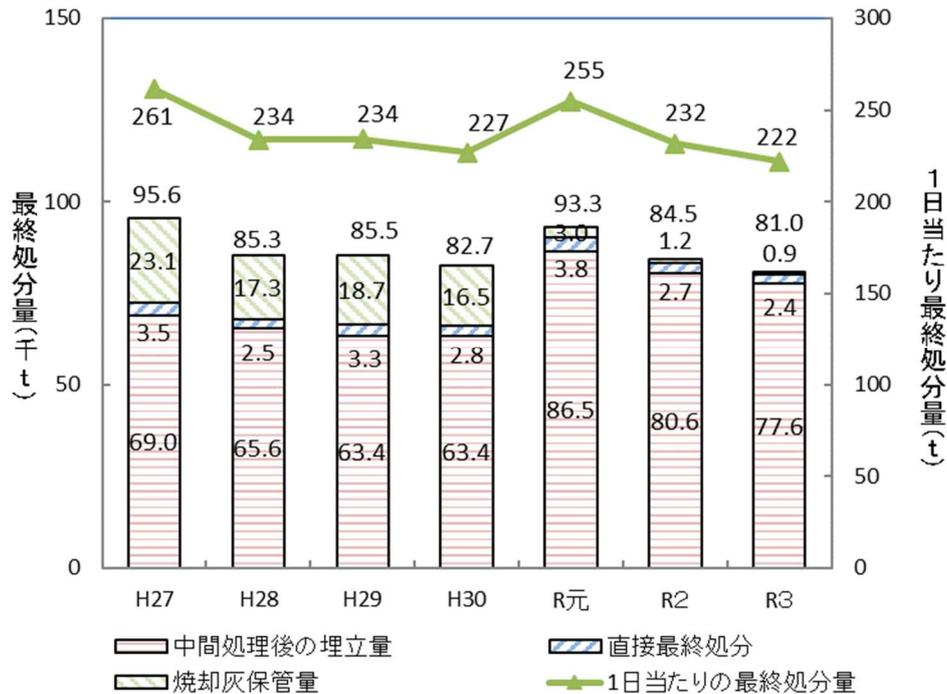
全国ベスト3 (令和3年度)		
1位	北海道豊浦町	87.1%
1位	鹿児島県大崎町	81.6%
1位	岐阜県白川村	80.1%

(注)福島第一原子力発電所の事故による避難指示区域の市町村のうち、市町村による生活ごみ等の処理が再開していない双葉町を含みません。
(令和4年3月31日現在)

(5) 最終処分場埋立量について

令和3年度の最終処分量は80.0千tであり、前年度の83.4千tと比較し3.4千t減少しています。(1日当たりでは10tの減少)

直接最終処分量は2.4千tであり、前年度の2.7千tと比較し0.3千t減少しています。



注) 1日当たりの最終処分量は、埋め立てされずに保管されていた焼却灰の量を含めて算出しています。

図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-12 ごみ処理の推移

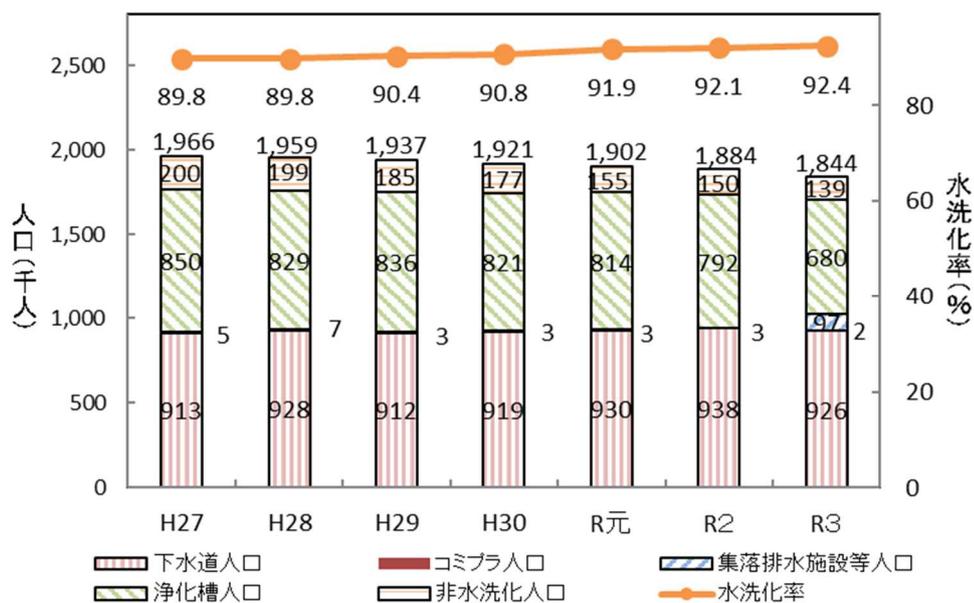
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
a 総人口(人)	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	1,844,169	
b 計画処理区域内人口(人)	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	1,844,169	
c 計画収集人口(人)	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	1,844,169	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	28,160,369	29,587,110	32,117,618	35,429,267	25,984,711	28,924,250	31,128,174	
f 建設改良費(千円)	7,279,283	8,025,200	10,957,045	14,189,044	2,795,665	6,650,741	8,201,315	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	19,689,454	20,304,798	19,891,800	19,825,585	21,649,299	20,934,085	21,712,026	
h その他(千円)	1,191,632	1,257,112	1,268,773	1,414,638	1,539,737	1,339,424	1,214,833	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	14,322	15,104	16,574	18,446	13,663	15,352	16,879	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	10,014	10,366	10,265	10,322	11,383	11,111	11,773	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	26,578	28,498	27,972	28,383	30,858	30,184	32,039	
l ごみ総排出量(t/年)	760,627	742,598	737,242	721,322	720,595	710,449	692,880	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,057	1,039	1,042	1,029	1,035	1,033	1,029	
n 計画収集量(t/年)	733,176	717,703	714,653	701,790	702,527	694,552	677,590	
o 収集ごみ量(t/年)	643,962	633,749	633,885	621,367	627,089	618,169	601,129	
p 直接搬入量(t/年)	89,214	83,954	80,768	80,423	75,438	76,383	76,461	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	520,984	507,380	502,461	490,374	487,196	494,740	479,346	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	212,192	210,323	212,192	211,416	215,331	199,812	198,244	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	740,831	712,509	711,139	698,503	701,588	693,560	677,679	
u 直接焼却量(t/年)	640,445	620,159	618,646	609,372	607,764	594,574	582,341	
v 直接埋立量(t/年)	3,502	2,503	3,281	2,811	3,753	2,748	2,424	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	66,704	61,991	62,881	62,702	67,849	71,864	69,277	
x 直接資源化量(t/年)	30,180	27,856	26,331	23,618	22,222	24,374	23,637	
y 資源化量(t/年)	79,658	75,358	74,760	73,129	73,671	78,044	76,886	
z 集団回収量(t/年)	27,451	24,895	22,589	19,532	18,068	15,897	15,290	
aa 資源化率(%)	10.8	10.6	10.5	10.5	10.5	11.3	11.3	
ab リサイクル率(%)	13.9	13.6	13.3	12.9	12.7	13.2	13.3	
ac 最終処分量(t)	72,538	68,077	66,724	66,257	90,211	83,378	80,036	
ad 焼却灰保管量(t)	23,059	17,271	18,736	16,478	3,044	1,158	924	
ae 1日当たりの最終処分量(t/日)	261	234	234	227	255	232	222	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	939	925	920	918	918	901	890
	資源化率(%)	15.8	15.9	16.0	15.9	15.8	16.7	16.7
	リサイクル率(%)	20.4	20.3	20.2	19.9	19.6	20.0	19.9

(注) $i = (e/b) \times 1,000$ $j = (g/b) \times 1,000$ $k = (g/t) \times 1,000$ $l = n + z$ $m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※ 閏年の年度は「365」を「366」として計算した。 $n = q + r$ $aa = (y/t) \times 100$ $ab = (y+z)/(t+z) \times 100$ $ae = (ac+ad)/365$ ※ 閏年の年度は「365」を「366」として計算した。

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

令和3年度の水洗化率は92.4%で、うち下水道による水洗化率は50.2%、浄化槽、集落排水施設及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は42.3%となっています。（P20 参照）



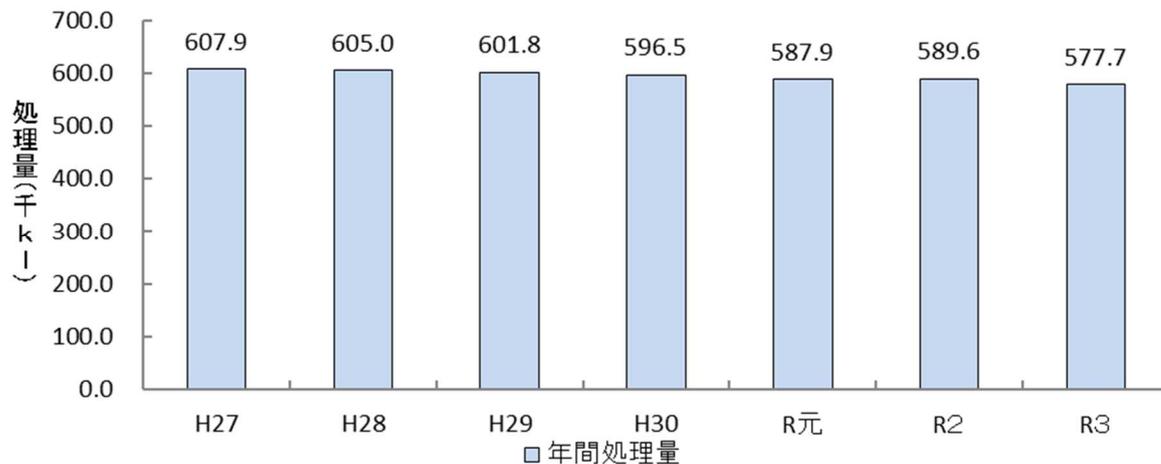
注) 令和3年度から集落排水施設等人口と浄化槽人口を区別して集計を行っています。

図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

令和3年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は577,679 kℓで、前年度の589,594 kℓと比較すると11,915 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は573,777 kℓ、下水道投入等は3,849 kℓ、自家処理量は53 kℓとなっています。



処理人口等（単位：千人）

処理系統図（単位：kl/年）

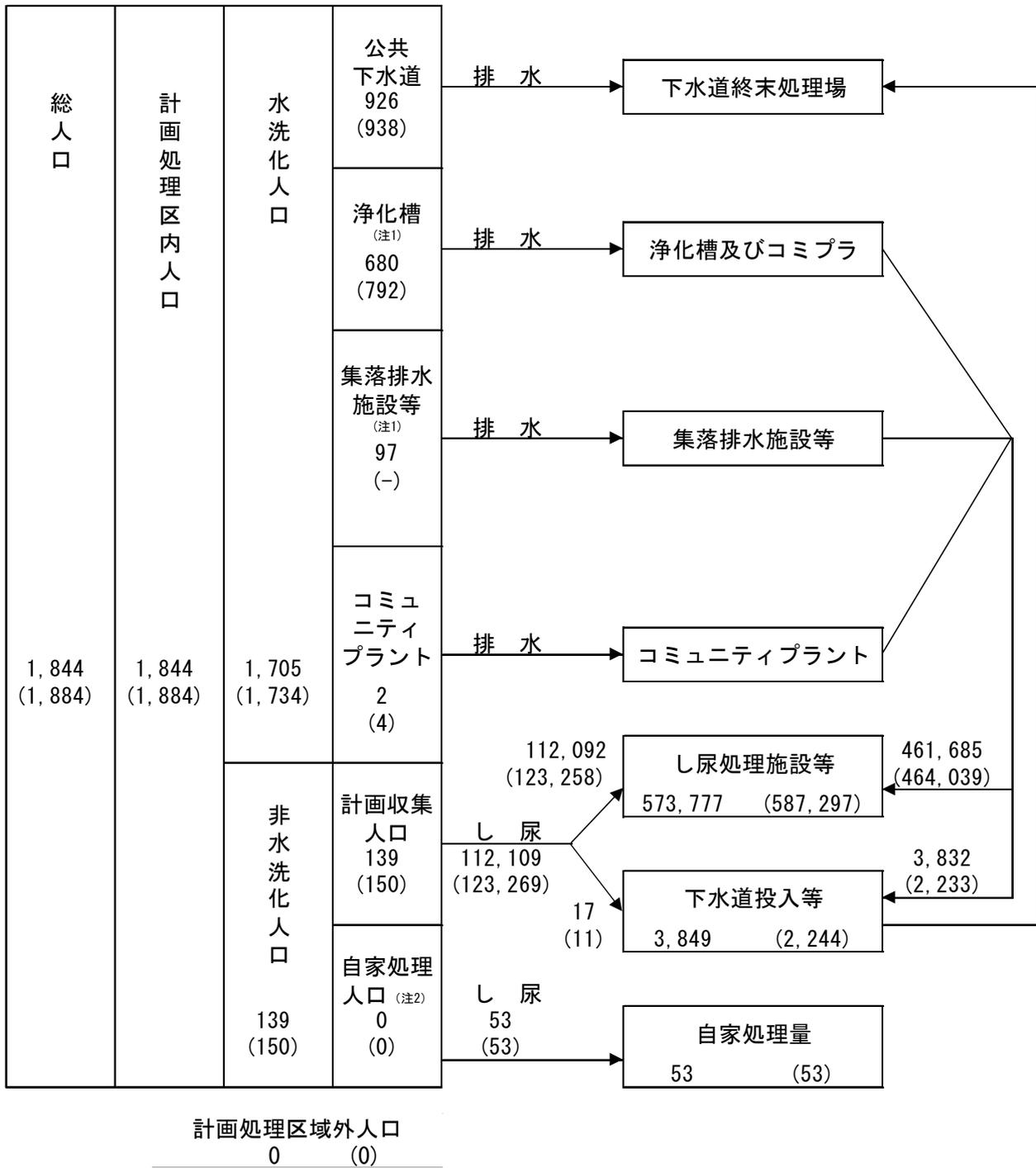


図-8 し尿処理のフロー図

注1) 令和3年度から集落排水施設等人口と浄化槽人口を区別して集計を行っています。

注2) 自家処理人口は53人(53人)

注3) ()内は令和2年度の実績

表-13 し尿処理の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
a 総人口(人)	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	1,844,169
b 計画処理区域内人口(人)	1,966,221	1,958,850	1,937,827	1,920,716	1,901,853	1,884,061	1,844,169
c 水洗化率(%)	89.8	89.8	90.4	90.8	91.9	92.1	92.4
d 水洗化人口(人)	1,766,202	1,759,867	1,752,393	1,744,180	1,747,330	1,734,320	1,704,858
e 公共下水道人口(人)	913,603	928,080	912,376	919,433	929,774	938,148	925,578
f コミュニティプラント人口(人)	2,877	2,950	3,946	3,981	3,977	4,144	2,121
g 集落排水施設等人口(人)	-	-	-	-	-	-	96,800
h 浄化槽人口(人)	849,722	828,837	836,071	820,766	813,579	792,028	680,359
i 合併処理浄化槽人口(人)	497,423	503,028	524,517	484,502	478,594	485,499	443,647
j 非水洗化率(%)	10.2	10.2	9.6	9.2	8.1	7.9	7.6
k 非水洗化人口(人)	200,019	198,983	185,434	176,536	154,523	149,741	139,311
l 計画収集人口(人)	199,720	198,903	185,355	176,457	154,468	149,688	139,258
m 自家処理人口(人)	299	80	79	79	55	53	53
n 計画処理区域内のし尿等排出量(kl/年)	607,971	605,090	601,814	596,494	584,850	589,541	577,626
o し尿等処理量(kl/年)	607,971	605,090	601,814	596,494	584,850	589,594	577,679
p 計画処理量(kl/年)	606,998	604,494	601,336	596,084	581,849	589,541	577,626
q し尿処理量(kl/年)	156,706	148,989	139,807	129,507	125,945	123,269	112,109
r し尿処理施設(kl/年)	153,406	148,983	139,796	129,496	125,934	123,258	112,092
s ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	11	11	11	0	0
t 下水道投入等(kl/年)	3,300	6	0	0	0	11	17
u 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
v その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
w 浄化槽汚泥処理量(kl/年)	450,292	455,505	461,529	466,577	455,904	466,272	465,517
x し尿処理施設(kl/年)	402,336	455,448	461,469	466,517	455,844	464,039	461,685
y ごみ堆肥化施設(kl/年)	60	57	60	60	60	0	0
z 下水道投入等(kl/年)	47,896	0	0	0	0	2,233	3,832
aa 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
ab その他(kl/年)	0	0	0	0	0	0	0
ac 自家処理量(kl/年)	973	596	478	410	3,001	53	53
ad し尿(kl/年)	365	175	195	163	961	53	53
ae 浄化槽汚泥(kl/年)	608	421	283	247	2,040	0	0

(対総人口ベース)

計画区域率 $b/a=100.0\%(100.0\%)$

水洗化率 $d/a=92.4\%(92.1\%)$

非水洗化率 $k/a=7.6\%(7.9\%)$

計画収集率 $l/a=7.6\%(7.9\%)$

自家処理率 $m/a=0.0\%(0.0\%)$

公共下水道水洗化率 $e/a=50.2\%(49.8\%)$

浄化槽、集落排水施設及びコミプラ水洗化率

$f+g+h/a=42.3\%(42.3\%)$

(対非水洗化人口)

計画収集率 $l/k=100.0\%(100.0\%)$

自家処理率 $m/k=0.0\%(0.0\%)$

※()の数值は令和2年度実績 ※四捨五入により割合算出のため実態と若干異なる場合あり

※令和3年度から集落排水施設等人口と浄化槽人口を区別して集計を行っています。

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-14 のとおり、平成 27 年度以降は減少傾向にあり、令和 3 年度は前年度の新規設置基数を 29 基下回る、3,334 基（対前年度比 99.1%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9 のとおり、単独浄化槽から合併浄化槽への転換が進んでいることから、単独浄化槽の割合は毎年減少しています。令和 3 年度には浄化槽全設置基数 282,305 基のうち、単独処理浄化槽は 152,130 基（約 54%）と約半数となっています。

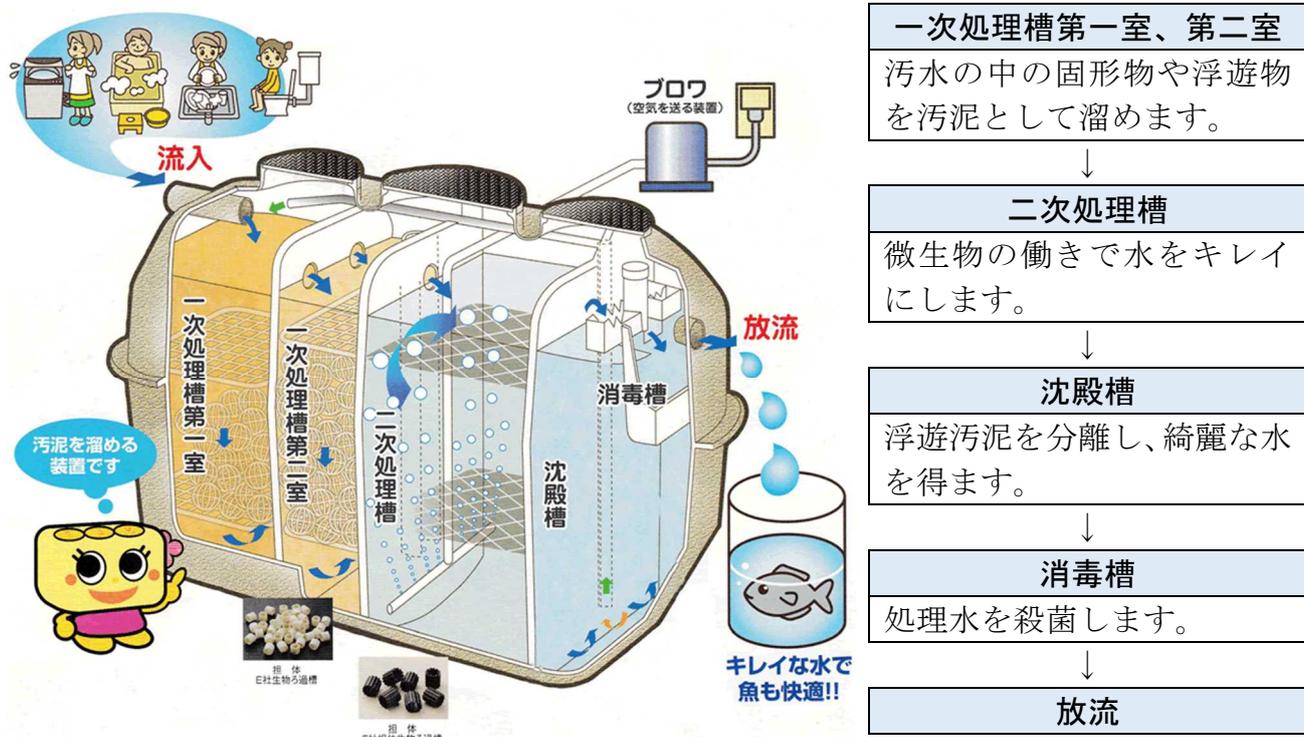
表-14 年度別新規設置基数

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基数	5,217	4,854	4,380	4,028	3,530	3,363	3,334

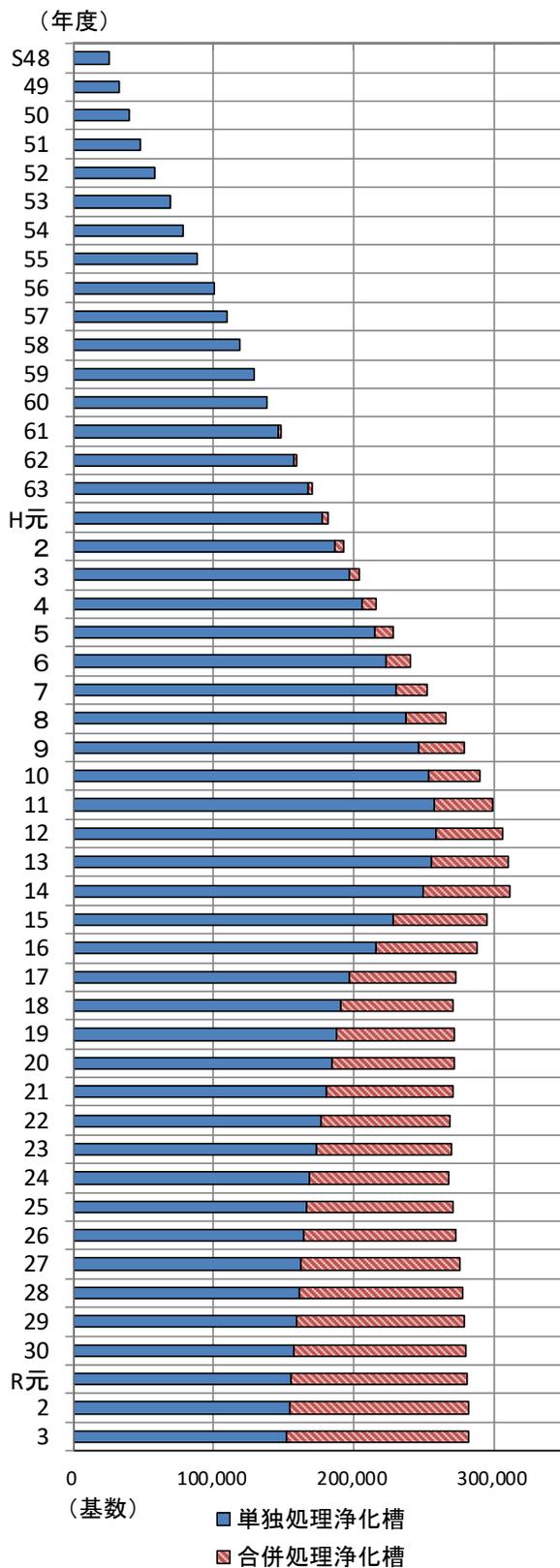
表-15 令和3年度末人槽区別全設置基数

人槽規模	5～20	21～100	101～200	201～500	501～	合計
基数	262,723	16,990	1,388	944	260	282,305

〈参考〉浄化槽のしくみ



出典：公益社団法人福島県浄化槽協会 HP <https://www.f-jkjk.com/jokaso/sikumi.php>



年度	单独处理净化槽	合并处理净化槽	合計
S48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
H元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107
25	166,749	104,382	271,131
26	164,583	108,247	272,830
27	162,778	112,762	275,540
28	161,124	116,536	277,660
29	159,277	120,048	279,325
30	157,198	122,929	280,127
R元	155,761	125,648	281,409
2	153,902	127,891	281,793
3	152,130	130,175	282,305

図一9 浄化槽設置基数の推移